

令和二年度 角館高等学校入学式 校長式辞

例年になく雪の少ない短い冬が終わりを告げ、まもなく桜の咲く季節となりました。本日ここに、令和二年度秋田県立角館高等学校の入学式を挙行するにあたり、保護者の皆様のご臨席を賜りあつく感謝申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました全日制課程普通科二百八名、定時制課程普通科十二名の皆さん、入学おめでとうございます。本校教職員を代表してお祝いを申し上げますとともに、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

新型コロナウイルスが世界で猛威をふるっており、学校にさえ行けない日々が続きましたが、これからはみなさんと共にこの逆境を乗り越えていきたいと考えています。

本校は、大正十四年開校の角館高等学校と、昭和三年開校の角館南高等学校が、平成二十六年に統合し、新生角館高等学校として七年目を迎えます。定時制課程は昭和二十三年に設置され、平成二十八年には現在の校舎が完成しました。質実剛健の「若杉精神」と繊細な「駒草精神」を受け継ぎ、全日制課程と定時制課程の共通の教育目標を「郷土を愛し、国際社会や地域社会に貢献できる人材の育成」としています。

保護者の皆様に申し上げます。本日は、お子様のご入学、まことにおめでとうございます。本日から角高生となる二百二十名の生徒の皆さん一人ひとりの夢の実現と心身の成長に向け、本校教職員は全力で取り組んで参ります。本校の教育方針をご理解いただき、お子様の高校生活が充実したものとなるよう、ご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本日臨席を賜りました保護者の皆様にあらためてお礼を申し上げますとともに、新入生の皆さんが伝統ある「名門角館高等学校」に入学したという今の感激を忘れず、充実した学校生活を送ることを祈念し、式辞といたします。

令和二年四月七日

秋田県立角館高等学校 校長 川村幸生